

自己点検・評価報告書

啓和テラス日本語学校

I. 点検評価項目

評価方法

- ・A：「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B：「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が可能な項目。
- ・C：「未達成」あるいは「適合していない」項目。

1. 教育理念・目標

1.1	教育理念・目標	
-----	---------	--

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
1.2	「理念」と「目標」とが、お互いにどのように関連しあっているかを説明できる。	A B C				
1.3	教育理念、目的、目標、育成する人物像が社会のニーズに合致している。	A B C				
1.4	教育理念、目標がすべての教職員及び学生に共有されている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

2. 学校運営

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
2.1	日本語教育機関の認定基準に適合している。	A B C				
2.2	校長（副校長）、主任教員、本務等教員、その他教員、事務統括職員、生活指導担当者・事務職員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教職員間で周知されている。	A B C				
2.3	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A B C				
2.4	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A B C				
2.5	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	A B C				
2.6	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	A B C				

2.7	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあり、機能している。	A B C				
2.8	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A B C				
2.9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	A B C				
2.10	校長（副校長）、主任教員による、教員、事務職員の統括ができてい	A B C				

総括	課題及び改善内容

3. 教育活動の計画

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
3.1	理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A B C				
3.2	理念と教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A B C				
3.3	学生の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのではなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みを用いて判定している。	A B C				
3.4	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。	A B C				
3.5	理念及び教育目標に合致した教材を選定、又は制作している。	A B C				

3.6	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。注：教材等の著作物（電子媒体を含む）の複製について著作権法上の制限事項・禁止事項を教員及び学生に伝えなければならない。	A B C				
3.7	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A B C				
3.8	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A B C				
3.9	体験を生かした学習、学生の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習など、学生の主観面へのアプローチをとりいれた授業運営ができている。	A B C				
3.10	新任教員、初任教員を対象とし、明示された「必要な能力・資質」を向上させることを目的とした研修を実施している。	A B C				

3.11	教育活動の内容・教育方法の改善を図るため、組織的な研修を計画的に実施する体制が整備されている。	A B C				
3.12	上記研修計画を行うことで、教育活動の内容・教育方法の改善が図られている。	A B C				
3.13	経験を問わず、所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行っている。	A B C				
3.14	他機関の実施する研修会等への参加を促している。	A B C				

総括	課題及び改善内容

4. 教育活動の実施

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
4.1	教育活動の計画が教員全体に周知されている。	A B C				
4.2	授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A B C				
4.3	教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A B C				
4.4	当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。	A B C				
4.5	出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。	A B C				

4.6	期間ごとの各課程の到達目標が達成できている。	A B C				
4.7	体験活動、行事などの実施・管理体制ができている。	A B C				
4.8	個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

5. 成績判定と授業評価

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
5.1	学習成績の判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	A B C				
5.2	成績判定結果を的確に学生に伝えている。	A B C				
5.3	授業評価を定期的に実施している。	A B C				
5.4	評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	A B C				
5.5	学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	A B C				

5.6	評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	A B C				
5.7	「～を実施している」ことの確認だけでなく、「それが実際に効果を上げているか」を、根拠に基づき確認できるような評価システムとなっている。	A B C				
5.8	評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

6. 教育活動を担う教職員

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
6.1	校長（副校長）、主任教員、本務等教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A B C				
6.2	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	A B C				
6.3	教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A B C				
6.4	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に努めている。					
6.5	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	A B C				
6.6	教職員評価のための体制、方法及び評価の基準を定めて、開示している。	A B C				

6.7	上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	A B C				
6.8	評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

7. 教育成果

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
7.1	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A B C				
7.2	修了・卒業の判定を適切に行っている。	A B C				
7.3	日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A B C				
7.4	卒業生及び修了生の状況を把握するための取り組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	A B C				

総括	課題及び改善内容

8. 学生支援

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
8.1	学生支援計画を策定し、支援態勢を整備している。	A B C				
8.2	生活指導責任者が特定され、職務内容及び責任と権限を明確に定め、それを学生及び教職員に周知している。	A B C				
8.3	日本社会、日本文化を理解し、適応するための取組みを行っている。	A B C				
8.4	留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施し、その効果を確認している。	A B C				
8.5	住居支援を行っている。	A B C				
8.6	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A B C				

8.7	健康、衛生面について指導する態勢を整えている。	A B C				
8.8	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A B C				
8.9	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A B C				
8.10	交通事故等の相談態勢を整備している。	A B C				
8.11	危機管理体制を整備している。	A B C				
8.12	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。	A B C				
8.13	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	A B C				

8.14	学生の薬物乱用防止、心のケア等を含んだ指導体制が取れている。	A B C				
8.15	健康診断の予定と実施状況、さらに、診断結果において問題があった学生への対策をとっている。	A B C				
8.16	安全な留学生活を送るために必要な場合は母語等による支援体制を整えることができる。	A B C				

総括	課題及び改善内容

9. 進路に関する支援

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
9.1	進路指導担当者特定している。	A B C				
9.2	学生の希望する進路を把握し、入学時から一貫した指導をしている。	A B C				
9.3	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A B C				
9.4	入学時から一貫した進路指導を行っている。	A B C				
9.5	進路指導を適切に行っている。	A B C				
9.6	進路相談の手順、方法が明確になっている。	A B C				

9.7	学校として組織的に進路指導に取り組む体制ができている。	A B C				
9.8	地域の教育機関、進学先との連携・協力ができている。	A B C				
9.9	卒業後の進路を把握している。	A B C				

総括	課題及び改善内容

10. 入国・在留に関する指導及び支援

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
10.1	入管事務担当者特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A B C				
10.2	担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	A B C				
10.3	出入国在留管理庁により認められた申請等取次者を配置している。	A B C				
10.4	出席状況の管理とフォロー体制が適切である。	A B C				
10.5	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A B C				
10.6	在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A B C				

10.7	在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。	A B C				
10.8	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

11. 教育環境

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
11.1	教室は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A B C				
11.2	授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。	A B C				
11.3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A B C				
11.4	視聴覚教材や ICT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A B C				
11.5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A B C				
11.6	同時に授業を受ける学生数に応じた数のトイレを設置している。	A B C				

11.7	法令上必要な設備等を備えている。	A B C				
11.8	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A B C				
11.9	施設、設備の定期的な安全点検が行われている。	A B C				
11.10	学校の衛生管理を行っている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

12. 入学者の募集と選考

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
12.1	入学者の募集活動が認定基準に沿って適切に行われている。	A B C				
12.2	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A B C				
12.3	募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。	A B C				
12.4	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A B C				
12.5	教育内容、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A B C				
12.6	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。	A B C				

12.7	海外の募集代理人（エージェント等）の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。	A B C				
12.9	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A B C				
12.10	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行っている。	A B C				
12.11	入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力、経費支弁能力等を根拠資料で確認する等、適切な方法によって確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A B C				

12.12	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A B C				
12.13	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A B C				
12.14	入学者の募集について、今後の見通しが安定している。	A B C				

総括	課題及び改善内容

13. 財務

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
13.1	財務状況は、中長期的に安定している。	A B C				
13.2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A B C				
13.3	適正な会計監査が実施されている。	A B C				
13.4	設置母体と学校の経営が、明確に区分されている。	A B C				
13.5	紹介機関との仲介手数料は、適正な額になっている。（生徒納付金額と比較して、高額となっていない。仲介手数料分を納付金に上乗せする等により、学生に金銭的な負担を強いていない。）	A B C				

総括	課題及び改善内容

14. 法令遵守

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
14.1	法令遵守に関する担当者 者を特定している。	A B C				
14.2	教職員のコンプライアンス 意識を高めるための取組 みを行っている。	A B C				
14.3	個人情報保護のための 対策をとっている。	A B C				
14.4	文部科学省、出入国在 留管理庁、関係官庁等 への届出、報告を遅滞な く行っている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

15. 地域貢献・社会貢献

点検・評価項目		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
15.1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	A B C				
15.2	日本語学校について地域住民の方々に理解を促す働きかけができています。	A B C				
15.3	地域の文化施設や自然、伝統行事等を学生指導に取り込み、活用できている。	A B C				
15.4	小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

16. 学校情報の公開

点検・評価項目		評 価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
16.1	ホームページ等で機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報を適正に公表している。	A B C				
16.2	法令上、または社会通念上、適切な情報を公開している。	A B C				
16.3	入学希望者への誇大な表現、不適切な表現などがない。	A B C				
16.4	情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	A B C				
16.5	公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	A B C				

総括	課題及び改善内容

II. 総合評価と改善計画

総合評価
【達成状況】
【課題・改善計画等】